

司会（松原恵美 氏）

それでは続きまして、地元中学校生徒の皆さんによる体験発表に移ります。まずはじめは木江中学校よりお願いいたします。

木江中学校では、今年文化祭で権伝馬をテーマにした創作劇に取り組みましたそうです。今日はその取り組みについて発表していただきます。

それでは木江中学校の2年生の行武明奈（ゆくたけ・はるな）さんと瀬川怜奈（せがわ・れいな）さんのお二人です。どうぞよろしくようお願いいたします。

◆体験発表 14:30～14:50

木江中学校2年生（行武明奈さん、瀬川怜奈さん）

（きをつけ 礼 お願いします）

木江町沖浦の権伝馬競争は今年で最後になるかも知れない。私たちの地域では今、そんな声がきこえてきます。もし20年後、この島で権伝馬競争が無くなっていたら、私たちは今年の文化祭でそんな未来の劇を創作しました。そして権伝馬の魂を受け継ぐ「ソーラン踊り」を創作し披露しました。今からお見せするのはその劇の一部です。この劇を見て少しでも私たちの思いを理解していただければうれしいです。

（スクリーン 上映中8分50秒）

今日はありがとうございました。これからもみんなで協力して権伝馬の魂を大切にしていきたいでしょう。

司会（松原恵美 氏）

ありがとうございました。地元中学生、木江中学校2年生のお二人、行武明奈さんと瀬川怜奈さんから発表していただきました。

それでは続きましてはもう一組目になります。東野中学校からです。東野中学校では例年8月に子ども権伝馬を実施しています。今度はその体験を中心に発表していただきます。

それでは東野中学校2年生の田口将也（たぐち・まさや）さん、日浦安奈（ひうら・あんな）さん、森下朱莉さん（もりした・あかり）、古川駿（ふるかわ・しゅん）さんの四名です。

東野中学校2年生（田口将也さん、日浦安奈さん、森下朱莉さん、古川駿さん）

（きをつけ 礼）

私たちが住んでいる東野では毎年8月13日に住吉祭があります。その住吉祭のメインイベントとして権伝馬競争があります。今から200年ほど前に大阪の住吉神社から神様を迎え、古江に住吉神社ができました。住吉祭はその神様を歓迎するためにはじまったとも言われています。以前は旧暦の6月29日に開催していましたが、権伝馬を漕ぐ人が少なくなったため、お盆に帰省する若者の参加を見込んで毎年8月13日に行われるように

なったそうです。

8月13日には東野の人口が増えていきます。若い人もお年よりも皆、権伝馬競争を楽しみにしています。権伝馬競争のある夜にはきれいな花火が打ち上げられています。東野の人にとって、夏イコール権伝馬といっても言いすぎではありません。

住吉祭の合間に子ども権伝馬があります。東野の小学校5年以上、中学校の全学年ではほとんどの生徒がこの子ども権伝馬に参加しています。去年は8月6日に子ども権伝馬の練習をしました。権伝馬に乗ったら権棒をひもで結びます。ひもで結ぶのは意外と力が要り、とても大変でした。子ども権伝馬は学年ごとで漕ぎます。皆は小学校5年からいっしょに漕いでいるので、権も声もきれいにあっています。最初はおとなの人たちが太鼓と船頭をしていたけど、途中から私たちにもさしてくれました。船頭は曲がるとき難しいので、おとなの人たちが教えてくれました。権伝馬には私たちだけでは漕ぎ手が少ないので保護者の方や先生が乗ってくれました。その他多くの保護者や地域の人が私たちの練習のために来てくださいました。練習の合間のジュースはとてもおいしかったです。何回か練習した後、中学生で競争をしました。2回競争をして2回とも2年生が勝ちました。協力してくれたおとなの人たちに挨拶をして練習を終わりました。毎年のことですが、とても楽しい一日です。

いよいよ8月13日、本番の日です。おとなの権伝馬のあいだに子ども権伝馬があるので、見物の人がたくさん集まっています。競争が始まります。小学校5年から中学校3年まで学年ごとに5頭の権伝馬がスタート地点に並びスタートしました。最初は中学2年生の権伝馬が1番でしたが、中学3年生がどんどん追いついて、最後には中学3年生の権伝馬が1番になりました。私たちにとって夏休みのとても大切な思い出になっています。

私たちは東野中学校のみんなに「子ども権伝馬は好きか?」「子ども権伝馬を続けていきたいか?」「子ども権伝馬についてどう思うか?」というアンケートをとってみました。アンケートの結果は次のようになりました。

「子ども権伝馬は好きか?」では、好きと答えた人は全体の79%。好きでないと答えた人は全体の21%でした。約8割の人が、権伝馬が好きだと答えています。好きだという人は「楽しいから」「かっこいいから」「みんなで協力して勝利したときの達成感が気持ちいいから」「いい夏の思い出になるから」などの意見がありました。次に「子ども権伝馬を続けていきたいか?」の結果は、続けていく方がいいが81%。続けなくてもいいと答えた人は19%でした。続ける方がいいという人は、「女子も権伝馬ができるから」「地域の伝統行事だから」「大崎や木江の人にもぜひ体験してもらいたい」などの意見がありました。

ここでみんなの書いてくれた意見を紹介します。

- 権伝馬はめったに乗れないし、難しい。けれど、みんなで漕いで進んでいるときは楽しいです。
- 小5で初めて権伝馬に乗れたときは嬉しかったです。みんなで息を合わせてこぐのはむ

ずかしいけど、櫂が合ったときの達成感はずごく気持ちが良かったです。もしまだできるのならやりたいです。

●東野の伝統的な文化だから、私は続けていく方がいいと思います。海の上だから、すごくゆれて、こわかったです。でも櫂伝馬は、みんなの息がぴったり合わないと進みません。だから、みんなで団結するためにも、続けていた方がいいと思います。

こんな意見もありました。

●初めて櫂伝馬に乗ったときは楽しかったけど、練習していくうちにだんだん面倒になってきたし、腕も痛かったのでいやでした。

●船で沖のほうまで行ったのでこわかったです。毎年こいでいる人は大変だなと思いました。練習では声を出すのがイヤでした。どうしても海が気になってうまくこげないです。このように少しこわい。声が出せないという人もいます。海が大好きという人もいれば、好きでないという人もいます。けれども約8割の生徒が櫂伝馬を楽しみにしています。東野中学校は今年で閉校です。しかし、新しい大崎上島中学校でも、東野中の伝統を引き継いで大崎や木江のみんなと子ども櫂伝馬は続けていきたいと思います。これで終わります。
(きをつけ 礼 ありがとうございます)

司会 (松原恵美 氏)

東野中学校の田口さん、日浦さん、森下さん、古川さんの四名でした。ありがとうございました。

それでは、ここで10分間ほど休憩をとらせていただきます。

◆休憩 14:50～15:00